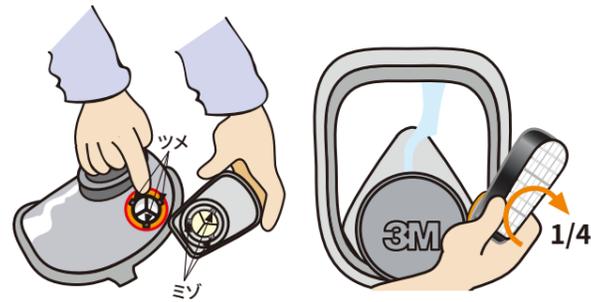
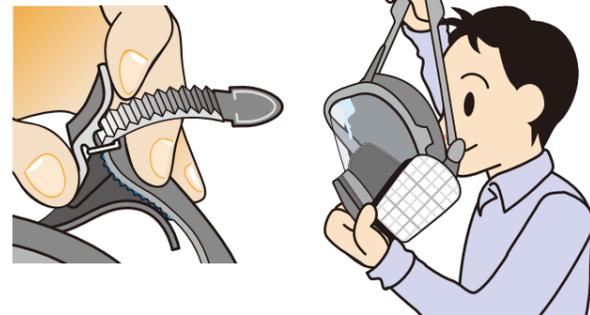


3M™ 防毒マスク 面体 6000F シリーズ(全面形面体) 装着方法

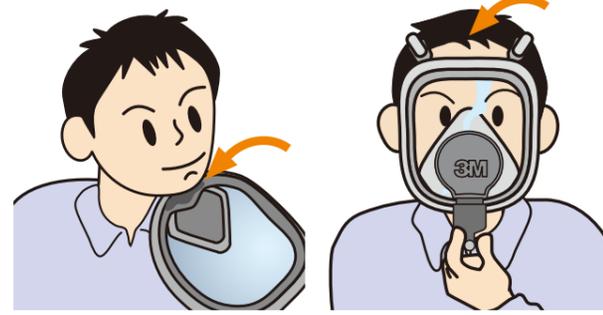
- 1 吸収缶を付ける
- 2 ハーネスをゆるめる
- 3 アゴの位置を確認
- 4 4カ所で調整



3M™ 吸収缶を取り付けます。吸収缶の3つのミゾを面体の3つのツメに合わせ、軽く押さえつけるようにしながら、時計方向に1/4ほど回転させます。3つのミゾ、ツメが合致する箇所は、1箇所だけです。



指でタブを引き上げるようにしながら、しめひもを緩めます。次にハーネスが後頭部にくるようにしめひもを頭からかぶります。



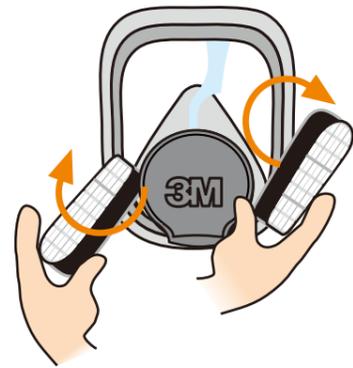
アゴがマスクに乗るようにマスクの位置を調整してください。また、面体に髪の毛などが挟まらないように注意してください。



片手で面体を抑えたまま、下のしめひもを後ろに引くようにして、調整します。次に上のしめひもを調整します。面体がつぶれるなどの変形を起こすほど強く締め過ぎないように注意してください。

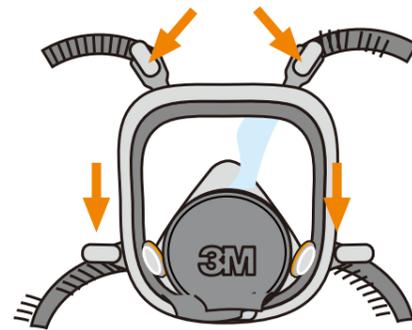
Point 1 両方とも時計方向

3M™ 吸収缶の取り付けは、左右ともに時計方向です。正面から見て右側の吸収缶は、上から下に回すように、左側の吸収缶は下から上に向かってまわしてください。



Point 2 4箇所のタブをゆるめる

タブは面体に4箇所ついています。全てを緩めてから、かぶるように装着します。



Point 3 密着性の検査

フィットチェックツールの先端を指でつまみ息を軽く吐き出します。面体が少し膨らみ、顔との間から漏れがなければよいフィットが得られています。顔と面体の間、特に額やアゴから空気が漏れるようであれば、マスクの位置やしめひもの強さを調整しなおしてください。



ゴム製のフィットチェックツール(別提供)をツールの溝と排気弁カバーの排気口のリップに合わせて差し込みます。



フィットチェック・ツールがない場合は、片手で排気弁の前を塞ぐことで、密着性の検査が行えます。

